

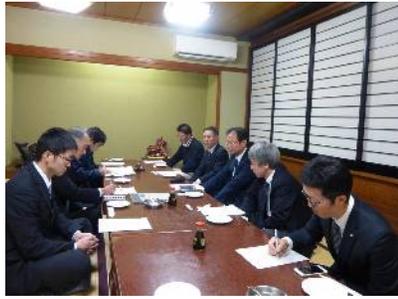


第918号2017.1.21
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



連合中越地協四役・S Jネットで「新春対談」

2017年の仕事始め。重点課題・産別・SJ課題等々を語り合う



連合中越地協は2017年の仕事始めに、1月4日(水)17時から恒例の地協四役新春対談(通称・吹く会)を行った。また、この対談には、富井S Jネット委員長事務局長が加わり大いに語り合った。

この日の午前には、アオーレ長岡で新年賀詞交換会が開催され、矢島議長以下4名を含め約2500人が参加した。

新春対談は、連合中越地協の恒例行事。矢島議長を筆頭に、地協全四役とS Jネットから富井事務局長が参加し、丸山連合新潟組織スタッフを加え、総勢10名が煉瓦亭に揃った。

◆矢島議長
明けましておめでとうございます。クラシノ応援団R ENGOが実現できるような運動を進めて行こう。先ず、組合員や組織されていない働く仲間の負託に応える活動を進めていく。また、NPOとの連携も進めていく。

◆羽賀副議長
今春闘は、「平均賃金要求」から「個別賃金要求」に変える。大阪の方で良い結果が出ている。賃金構造はつきり分かることにより、賃金構造が確立できていない中小には有効との判断だ。業績の良い企業は2つ3つで幾つもなく、先行き不透明だ。繁忙期で残業していても「利益がなくなっている」との現実だ。

◆松野副議長
春闘は、中旬からのオルグではじまる。政治啓蒙活動として組織内の議員から活動報告を考えている。この取り組みは日頃の営みが大事であり、モチベーションの維持にもつながる。また、組合員に対して、世話役活動でコミュニケーションを図っていききたい。他に、電力システム改革による法的分離への課題に向けた対応も重要となっている。

◆富井S J事務局長
富井事務局長は、組合員や組織されていない働く仲間の負託に応える活動を進めていく。また、NPOとの連携も進めていく。

◆横澤副議長
春闘は、中旬からのオルグではじまる。政治啓蒙活動として組織内の議員から活動報告を考えている。この取り組みは日頃の営みが大事であり、モチベーションの維持にもつながる。また、組合員に対して、世話役活動でコミュニケーションを図っていききたい。他に、電力システム改革による法的分離への課題に向けた対応も重要となっている。

◆多田事務局次長
多忙化解消が課題で、県人事委で指摘され、ようやく重い腰をあげた。12月1日から労基法109条への対応がはじまり、多忙実態が明らかになる事への対応が重要となる。

◆火山副議長
有期雇用から無期雇用への転換を1年前倒しで行う。また、期間雇用社員の処遇改善と組織化に邁進したい。見附市内に新たなセンターが発足する。労組の運動・組織化の対応等をしつかり行っていく。

◆矢島議長
連合運動への各単組の参加が乏しいという課題がある。その事

が、残業も増えて現状2000時間を超えていることも春闘課題だ。



今は当たり前のように設置されている児童館などの児童保育の施設ですが、明確に法制化されたのは、1997年(平成9年)学童保育が「放課後児童健全育成事業」とされたときです。そこに至るまでは長い保護者の運動、これを受けての自治体等の取り組みがありました。▼こうした時期に札幌市で保護者を中心に運営されていた民間の学童保育所「つばさクラブ」、そこは一年生から六年生まで、障がいのある子もいない子もいっしょに放課後を過ごしていました。当時の職員は「この父母会は、『ハンディを持っていない子も居る集団はいいよね』という思いを共有しあっている」と思います。たがいに子どもを預け合う仲間にもなり、さまざまな職種、考え方の人たちが利害なく話し合ったり聞きあったりしています。▼話の行き着く先は、いまの子どものための生活や考え方のこと。そんな

話は合いや子どもの預け合いによって、気づくことがたくさんあります。この「つばさクラブ」の日常を記録したのが長岡市在住の映画監督小林茂さんです。小林監督は「子どもたちの表情には『ある懐かしさ』を感じさせるものがありました。また、ハンディのある子どもが、自然と溶け込んでいる人間関係がそこにはありました。」と一気撮りあげた映画が『放課後』です。▼そしてこの映画のエンディングで歌われている曲が新沢としひこさん作詞の「ともだちなるために」です。映画の制作から20年近くたちましたが、相模原市の障害者施設殺傷事件が起るなど差別・分断は解消されていません。今回のワークショップ&ライブセミナー(2月11日)では新沢さんと小林さんの対談を企画しました。あらためて共生を考えたい。あつちから。

東蔵王2 <<No.235>> 副議長 横澤 勝之

◆富井S J事務局長
富井事務局長は、組合員や組織されていない働く仲間の負託に応える活動を進めていく。また、NPOとの連携も進めていく。

◆矢島議長
連合運動への各単組の参加が乏しいという課題がある。その事

◆富井S J事務局長
富井事務局長は、組合員や組織されていない働く仲間の負託に応える活動を進めていく。また、NPOとの連携も進めていく。

◆矢島議長
連合運動への各単組の参加が乏しいという課題がある。その事

◆矢島議長
連合運動への各単組の参加が乏しいという課題がある。その事

◆富井S J事務局長
富井事務局長は、組合員や組織されていない働く仲間の負託に応える活動を進めていく。また、NPOとの連携も進めていく。

◆矢島議長
連合運動への各単組の参加が乏しいという課題がある。その事

サラリーマン川柳(どの人も ケータイばかり 見つめてる) (ダイエット 痩せていくのは 財布だけ) (大掃除 処分リストに 亭主入れ) (ストレスの 元が君とは 言えぬ僕)

サラリーマン川柳 (日曜の疲れを癒す 月曜日) (血圧を 互いに取り上げ合う 君と僕) (振り向くな うしろ姿の 君が好き) (有るうちに 一度は染めてみる茶髪)

新潟市ワーク・ライフ・バランス推進フォーラム

第1部 基調講演 14:05~15:05

ワーク・ライフ・バランスは儲かる!?

【講師】川島 高之氏 (NPO法人コデカラ・ニッポン代表)

第2部 WLB推進事業所表彰式 15:10~15:30

第3部 パネルディスカッション 15:40~16:30

新潟市におけるWLBの実践

【出演者】

- パネリスト
 - 田中 孝佳氏 (株式会社第四信行人事部長)
 - 皆木 伸介氏 (ダイエー工業株式会社総務部長)
 - 小久保 美子氏 (新潟大学経済学部経済学専攻)
 - 篠田 昭 (新潟県)
- コーディネーター 川島 高之氏

【会場】新潟ユニゾンプラザ多目的ホール 新潟市中央区上野2丁目2番2号

【日時】平成29年1月30日(月) 14:00~16:30 (開場13:30)

【定員】抽選300名(入場無料) ※事前申し込みによる入場要となります。

【申込期間】平成28年12月25日(日)~平成29年1月16日(月)

【申込先】新潟市役所コールセンター TEL 025-243-4894 受付時間 8:00~21:00(年中無休)

【総合司会】菊野 麻子氏(フリーアナウンサー)

【主催・お問い合わせ先】新潟市男女共同参画課 TEL 025-226-1061

【共催】新潟商工会議所・新潟経済同友会

基調講演 川島 高之氏プロフィール

NPO法人コデカラ・ニッポン代表
NPO法人ファザーリング・ジャパン理事
株式会社K&Partners社長

●1987年三井物産入社。その後、三井物産系の上場会社社長を務めた。2016年に社運を担い独立起業。●NPO法人「ファザーリング・ジャパン」理事、NPO法人「コデカラ・ニッポン」代表でもある。●子育てや家事(ライフ)、商社勤務や会社社長(ビジネス)、PTA会長やNPO法人代表(ソーシャル)という3つの経験を融合させた講演を、年間200本以上行う。●NHK「クローズアップ現代」で特集され、AERA「日本を突破する100人」に選出されるなど、多数メディアに登場。●著書「いつまでも会社があると違うよ!」PHP研究所

【会場】新潟ユニゾンプラザ多目的ホール 新潟市中央区上野2丁目2番2号

お車でのご来場の場合
●北陸-新潟-日本海東北自動車道 新潟中央ICより約10分
●北陸自動車道 新潟西ICより約12分
(国道8号新潟バイパス交差IC、松木ICを指す)

路線バスでのご来場の場合
●ユニゾンプラザ前 より徒歩1分

ワーク・ライフ・バランス推進啓発パンフレット

ワーク・ライフ・バランス推進のヒントが満載のパンフレットを作成しました。ぜひ、ご活用ください。

新潟市 WLBパンフ [印刷](#)

男性の育児休業取得促進事業奨励金

新潟市内の中小企業に勤務する男性労働者が育児休業を取得した場合、その事業主とご本人に奨励金を支給します。

10日以上育児休業を取得した男性労働者	10万円	左記労働者を雇用する事業主(1回限り)	30万円
---------------------	------	---------------------	------

※ただし、国の「出生時育児休業促進金」の対象となる事業主を除く

新潟市 男性育児奨励金 [印刷](#)

2017 地域フォーラム

TPPの光と闇

~新潟に何をもちたらすか~

みなさんは、「TPP」と聞いてどのような印象を持っていますか?
今、大きな注目を集めている「環太平洋パートナーシップ協定(以下「TPP」)」、この合意をめぐり、国内外において様々な議論が展開されています。国会では、12月9日にTPP承認案と関連法案が参議院本会議で可決し、国内での手続きは終わりましたが、その一方、アメリカ次期大統領選挙で当選したドナルド・トランプ氏は「アメリカのTPP協定からの離脱」を明言しており、先行きが不透明な事態も出てきています。このような状況の中、このTPPの合意によって、私たちが生活する新潟にどのような影響があるのかを考えてみる機会として、今回、パネルディスカッションを企画しました。新潟県知事、国会議員をパネリストにお迎えし、様々な切り口からこの課題について議論を深めていきます。みなさんも私たちと一緒に明日の新潟について考えてみませんか。

2017年 **2月4日** 午後4時~6時

参加費無料

会場 ▶ 新潟市秋葉区文化会館

〒950-0033 新潟市秋葉区新井町4-13 TEL 0250 25-3301

会場までのアクセス
①「新津駅」から徒歩約15分
②「古津駅」からバスで約10分

【パネリスト】

- 連合新潟 会長 齋藤 健明氏
- 新潟県知事 米山 隆一氏
- 新潟県議会 議員 高島 修一氏
- 新潟県議会 議員 笠尾 英一朗氏

【コーディネーター】

連合新潟 副会長 藤田 明彦氏

【申込・お問い合わせ】

連合新潟 TEL 025-281-7555 FAX 025-281-7556

本当にこれでいいの? 日本の奨学金

大学の学費の高騰と家計収入の減少により、奨学金に頼らなければ進学できない学生が半数を超えようになりました。卒業しても、不安定な雇用で充分な収入が得られず、奨学金を返さなくても返せない人たちも増加しています。社会人としてのスタートラインから数百万の借金を背負うのは、大変な重荷です。返済を諦めたり、返済が負担になって結婚や出産をためらわせる要因もなっています。これは、本人だけでなく、社会にとっても大きな損失です。貧困の連鎖を断ち、教育の機会均等を実現するとともに、少子化・人口減に歯止めをかけて持続可能な社会にするために、奨学金問題の早急な改善が必要です。

奨学金に頼らなければ進学できない

【大学の年間授業料の推移】

【民間平均貸付と奨学金受給率】

可能性を広げるはずの奨学金なのに...

【奨学金の借入総額】

- 1990年: 17,206億
- 2016年: 312.9億

【返済の負担割合】

- 返済が苦しい: 37.2%
- 返済が少し苦しい: 33.5%
- 返済が少し楽しい: 26.7%
- 返済が楽しい: 10.2%

返済が結婚や出産などにも影響

20~30代前半では、奨学金返済が生活設計に影響しているとの回答が、いずれも2~3割に達しています。若い世代ほど影響度が高く、将来への懸念が立ちくくっています。

【奨学金返済による生活設計への影響】

個人の実力だけでは、もう限界。